

都市再生整備計画 事後評価シート
りんくうポート北地区

令和3年8月

大阪府泉南郡田尻町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	田尻町	地区名	りんくうポート北地区			面積	23.8ha
交付期間	平成30年度～令和元年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	600百万円	国費率	0.4		

		事業名							
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(広場、情報板)							
	提案事業								
		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
当初計画から削除した事業	基幹事業								
	提案事業								
新たに追加した事業	基幹事業								
	提案事業								
交付期間の変更	当初								
	変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	自然環境の豊かさの満足度	%	30.0	H27	35.0	R1		63.3	○	あり なし	住民ワークショップの意見を反映しつつ、情報板やウォーキングコースの設定等を行ったことで満足度が上昇した。	
指標2	下水処理やごみ処理などの施設、公園などの整備の満足度	%	26.5	H27	32.0	R1		60.4	○	あり なし	住民ワークショップの意見を反映しつつ、広場等の整備を行ったことで満足度が上昇した。	
指標3	都市公園等の整備水準	m ² /人	4.88	H27	5.00	R1		5.61	○	あり なし	広場等の整備を行ったことで都市公園等の整備水準が上昇した。	
指標4										あり なし		
指標5										あり なし		

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4) 定性的な効果発現状況

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等	
モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
住民参加プロセス	・住民ワークショップにより広場やウォーキングコース等の整備を議論 ・広場の名称を公募し、住民ワークショップ、地域の小学生により選定		都市再生整備計画に記載し、実施できた				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		今後も広場等の利活用に関して、地域の団体や住民等の意見を把握しつつ事業展開を図る。	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
持続的なまちづくり体制の構築	町民の交流や活動の拠点となるよう休憩施設(名称:交流施設)に展示スペースを設け、作品等の展示、管理を住民団体が行う。		都市再生整備計画に記載し、実施できた				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		地域活動の場、交流の場となるよう積極的な利活用を促進するため、町は地域の団体等の活動を後方支援を行いつつ、必要に応じ連携を図っていく。	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				

様式2-2 地区の概要

りんくうポート北地区(大阪府田尻町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
	自然環境の豊かさの満足度 単位: %	30.0 H27	35.0 R1	63.3 R2
	下水処理やごみ処理などの施設、公園などの整備の満足度 単位: %	26.5 H27	32.0 R1	60.4 R2
	都市公園等の整備水準 単位: m ² /人	4.88 H27	5.00 R1	5.61 R2
	単位:	H	H	H
	単位:	H	H	H

(仮称)りんくうポート北広場(基幹:地域生活基盤 広場)

情報版、案内板(基幹:地域生活基盤 情報板)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ワークショップにて『3世代みんなであそべる、会える場所の創造』を基本方針として、みんなに愛着をもって親しまれ、地域の魅力づくりに資する広場やウォーキングコース等の整備について議論された意見を参考に整備を行ったことにより、公園、広場等に関する満足度が増加した。 ・徒歩や自転車で町域全てを回れる特性を活かし、広場を中心としたウォーキングマップや地域の観光情報を明示した案内板を設置し、四季折々の草木や花を楽しみながら、広場や街路樹、近接した緑地などへの回遊を誘導するみどりのネットワークができたことで、自然環境の豊かさに対する満足度が増加した。 ・都市再生整備計画事業により整備した広場がコミュニティや地域活動の拠点ともなるよう、打合せ等ができる休憩施設(名称:交流施設)を設け、また、その施設内には地域団体が作品等の展示を行える展示スペースを設けたことにより、団体の活動促進や団体が自ら管理運営に参画するきっかけとなった。 ・周辺施設の案内板を設置し、広場を中心とした観光スポット等への人の回遊を促し、また、漁港のにぎわいと連携した利活用が図れるような施設づくり(軽トラ市などのスペース)を行ったが、新型コロナの影響により積極的な利活用を促すことができなかった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具、植栽等の適切な維持管理や機能充実を図り、安全、安心に利用できる公園、広場づくりを行う。 ・地域活動や交流の場として、公園、広場の利活用を促進するとともに、住民参画による公園、広場づくり、管理運営を促す。 ・田尻町のコンパクトさを活かした、みんなが出かけたくなり、歩いて楽しめる「みどりのネットワーク」づくり(連続した緑の配置)を推進し、様々な周辺施設や地域資源への回遊を促すことで、まちの魅力発見と住民間の交流、健康づくりに寄与する。 ・地域コミュニティは、災害や犯罪に強いまちづくりの重要な要素であることはもとより、人々が健康で充実した生活を送るための基本的事項であるため、地域を支える人づくりと持続可能なコミュニティづくりを推進する。 ・都市再生整備事業により整備した広場等や朝市で活気がある田尻漁港を中心としたエリアを「にぎわい交流ゾーン」と位置づけ、周辺施設等と連携した施策展開により、住民、来訪者が楽しく交流し、にぎわいの創造と産業の活性化を図る。